

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号817

発生場所	病院の外（敷地内）	精神・意識障害の有無		リスク
発生場所（その他） -		無		
関連したもの	段差、照明	発生内容の分類		C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
		転倒		

発生内容

深夜、病院駐車場内車止めに躓いて転倒し、骨折に至った事例

概要

胆石発作で救急要請した75歳の男性患者は、1時半過ぎに治療を終えた。家族が自家用車で来院していたので、会計を終えて一緒に救急外来を出たが、自家用車に向かう途中、階段付近の暗闇の広がる病院駐車場の車止めにつまづき、転倒した際左膝蓋骨開放骨折した。転倒事故のあった駐車場は、7、8段の階段（スロープあり）を降りたところであり、病院建物の光から影になっており、さらに駐車場内の電灯からも離れていたため、かなり暗い状況であった。家族が救急外来に助けを求めに戻ってきたので、救急看護師が車いすで迎えに行き、そのまま入院となった。

要因

- ・ 駐車場内の電灯や周囲の街灯が少ない、または暗かった
- ・ 家族が停めた自家用車の場所を患者は知らなかったため、駐車場の状況（暗いこと）を把握していなかった
- ・ 病院の建物からの光が、階段下の駐車スペースの影を作り、余計に暗くなった
- ・ 車止め自体に表示（発光ペイントなど）がなく、コンクリート素材であったため、暗闇に同化した
- ・ 車が駐車していない場合、駐車場の端の通路は境界が不明確となり、どこからが駐車場なのかがわかりにくい

対策

駐車場内の電灯を増やす、または明るくするように依頼した。結果、周囲の住宅等への影響などから、明るくできないとのことだった。そこで、一旦、通路側の駐車スペースの車止めを撤去した。

参照



階段下の通路横駐車スペース。白線のところにある車止め（右側）につまづいた。



車止めを撤去したあと



建物と駐車場の位置関係がわかるもの